

やまぐちっ子学力向上だより

第 7 2 号 H28.2.8
山口県教育庁義務教育課

10月28日(水)を基準日として実施した「山口県学力定着状況確認問題」の結果をお知らせします。詳細については、山口県教育庁義務教育課のホームページに掲載している「平成27年度山口県学力定着状況確認問題結果について」をご覧ください。

検索してください

山口県学力定着状況確認問題結果

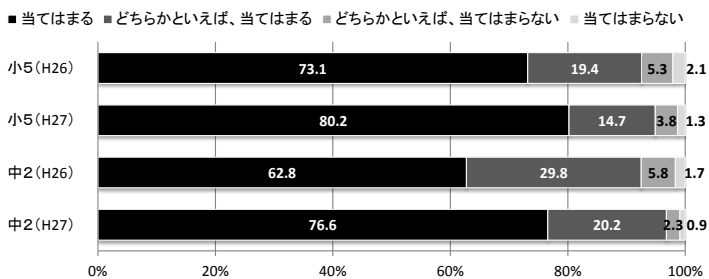
検索

① 教科の結果

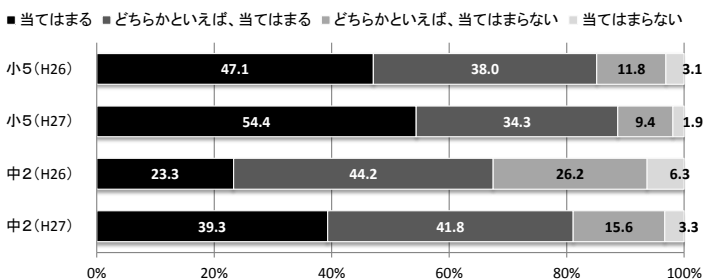
		主な成果	主な課題(■は問題形式による課題)
小学校	国語	○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと ○書いた文章を読み返し、表現の工夫を捉えること	●場面の移り変わりについて注意して読むこと ●登場人物の気持ちの変化を捉えること ■自分の考えを具体的に書くこと
	算数	○加減乗除の計算をすること ○数の仕組みや整理の方法、図形の基本的な内容を理解すること	●小数、分数、四捨五入、百分率について理解すること ●図形や式の意味を読み取ることや数量の関係を式に表すこと ■情報を整理し、理由や根拠、方法を説明すること
中学校	国語	○文脈に即して漢字を正しく読むこと ○言葉の特徴やきまりについて理解すること	●古語の文脈上の意味や古典の内容を捉えること ●説明的文章を読んで必要な情報を読み取ったり、事実と意見を読み分けたりすること ■自分の考えを理由や根拠を明確にして書くこと
	数学	○数を読み取ることや、計算すること ○関数関係を見いだし、表現すること	●割合を理解することや活用すること ●基本的な図形の計量をすること ■日常的な事象を数学的に解釈すること

② 質問紙の結果

普段の授業では、はじめに授業の目標が示されていると思いますか。



普段の授業では、最後に振り返る活動をよく行っていると思いますか。

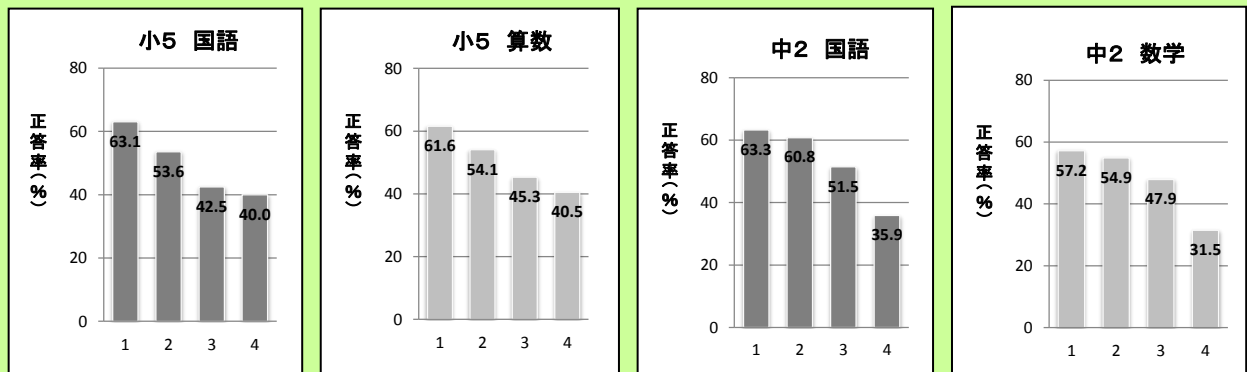


「授業の目標を示すこと」と、「授業の振り返り」については、どちらも肯定的な回答をした児童生徒の割合が、調査を実施した小学3年から中学2年までの全学年で昨年度より増えています。

今年度の全国学力・学習状況調査の結果では、これらを実施したとする学校の意識に比べ、児童生徒の意識が低いことが課題となっていました。児童生徒が意識できるような形で、各学校の授業改善が進んでいることが分かります。

③ クロス集計の結果

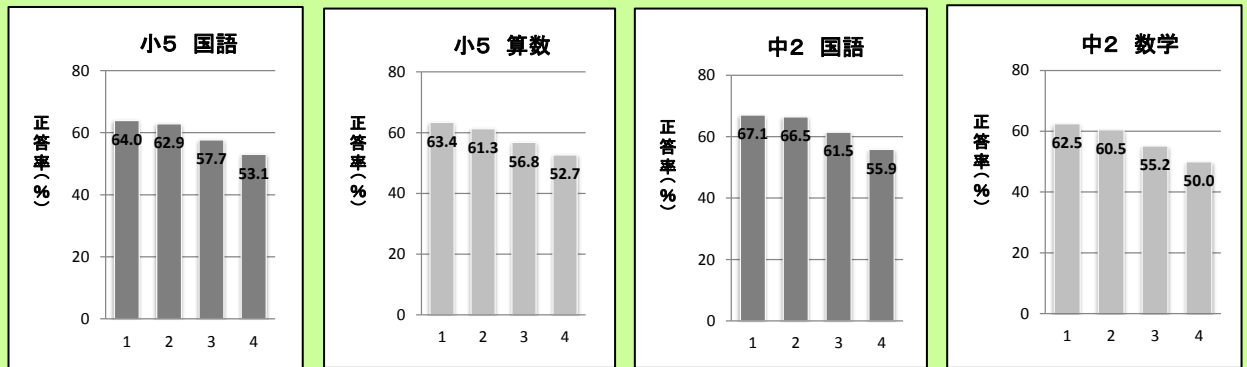
普段の授業では、はじめに授業の目標が示されていると思いますか。



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

授業の目標が示されていると思う児童生徒ほど、正答率が高くなっています。授業の目標を示して、児童生徒に学習の見通しをもたせることが学力向上につながるということが分かります。

家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。



1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

家で自分で計画を立てて勉強している児童生徒ほど、正答率が高くなっています。自分で計画を立てて家庭学習に取り組むことができるような指導の大切さが分かります。

④ 参考資料の活用

平成27年度 学力定着状況確認問題 参考資料
中学校第2学年 数学

設問番号	出題の趣旨	「知識」	「活用」	県全体正答率	過去の関連する調査問題等	やまぐち学習支援プログラム「やまぐちっ子学習プリント」
2 (3) 7	数量の関係を文字式に表すことができる	○		7.7	H27年小学校全国B2 (2) H27年全国A2 (2)	
3 (3) 10	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し連立二元一次方程式をつくることができる	○		54.5	H25年全国A3 (3) H25年県中2 3 (2) H26年全国A3 (3) H27年全国A3 (3)	2年連立方程式の利用3
4 (1) 11	図形の回転移動について、移動前と移動後の2つの図形の辺や角の対応を読み取ることができる	○		63.2	H25年全国A4 (3) H26年全国A4 (3)	小6年対称な図形2 1年平面図形4
4 (2) 12	角の二等分線の作図方法を図形の対称性に着目して見直すことができる	○		56.6	H25年全国A4 (2)	小6年対称な図形1 1年平面図形2
5 (1) 13	空間における直線と平面の位置関係について理解している	○		61.5	H27年全国A5 (1)	小4年直方体と立方体2・3
5 (2) 14	底面が合同で高さが等しい円錐と円柱の体積の関係について理解している	○		48.3	H26年全国A5 (4)	1年空間図形3

正答率の低かった問題については、授業や補充学習等で、「過去の関連する調査問題等」や「やまぐちっ子学習プリント」を活用して、学習内容の定着を図ることが大切です。